2023年度シラバス

ファッションテック科 1年

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	単位数	担当教員	業界実務経験	ページ
ファッション知識	必修	90	3	面田 憲郎	有	2
ファッションコーディネート	必修	45	1.5	伊藤 彩	有	4
IT基礎	必修	45	1.5	伊藤 貴裕	有	6
WEB制作	必修	90	3	藤井 貴浩	有	8
WEB運営	必修	90	3	深地 雅也	有	10
カメラワーク	必修	45	1.5	石田 英士	有	12
画像編集ワーク	必修	90	3	西村 元良	有	14
デジタル広告	必修	45	1.5	足田 朝彦	有	16
カスタマーリレーション	必修	45	1.5	湯原 良樹	有	18
素材	必修	45	1.5	島田 朋子	有	20
カラー	必修	45	1.5	杉本 祐子	有	22
コピーライティング	必修	90	3	塚本 香	有	24
パソコンワーク	必修	45	1.5	細谷 典子	有	26
校外研修	必修	30	1	福原 葉瑠子	無	28
インターンシップ	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	30
修了制作	必修	120	4	伊藤 貴裕	有	32

※ ファッションテック科　授業科目一覧表	34

科　目　名	ファッション知識	教　員　名	面田　憲郎
授業時数・単位	90　時間　　3　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
◎アパレル業界において業務上必要である基本的なビジネス知識への理解を第一に考え、
ファッション業界の全体像を理解しつつ、ファッションビジネスへ対する基礎のの習得を目指します。
その他、EC業務でのささげ業務の一部を学び習得しながら、包装や配送業務についても理解を深める。
◎ファッション販売能力検定試験3級の合格を目指します。

到　達　目　標
◎アパレル業界の全体像の把握、専門用語の理解
◎ファッション販売能力検定試験3級合格

授業の方法
◎ファッションニュース、トレンド、社会情勢などタイムリーな時事問題を取り上げつつ、
ファッションビジネス、ブランドビジネスや知識、アパレル業界を取り巻く環境を理解していく。
◎テキスト、過去の問題や課題に取り組みながら検定取得を目指す。
◎復習も兼ねた小テストを多く実施することにより理解を深める。

成績評価の方法
◎テスト　80%
◎出席率　20%
◎授業、課題に対する積極性・授業態度（マナー）　加点＋0 ～ 10%
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項
◎就職活動に対しての対策、相談にも随時対応していきます。

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（販売、営業、ディレクター、人材コンサル、スタイリスト）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業予定、制作・提出方法、イントロダクション
2回	ファッションビジネス基礎	導入、生活者とファッション企業の関係
3回	↓	ファッションビジネスと生活者ニーズ・ウォンツ
4回	↓	ファッション業界の仕組み
5回	↓	ファッション小売産業と現状・今後
6回	↓	その他アパレル産業の概要・形態
7回	↓	EC業界の現状と今後
8回	↓	消費者行動とファッション表現
9回	↓	マーケティング基礎
10回	↓	マーケティング戦略・ポジショニング
11回	↓	リテールマーチャンダイジング基礎
12回	↓	係数から捉えるファッションビジネス
13回	↓	ファッション商品知識
14回	↓	ブランド、ショップからみるファッションビジネス・知識
15回	前期まとめ	前期まとめテスト
16回	販売知識	顧客対応、クレーム対応
17回		衣服の手入れ、直し
18回		採寸、包装技術①
19回		採寸、包装技術②
20回	物流の機能、制度	商品配送に関する知識
21回	商品知識	サイズの知識、品質管理、副資材について①
22回		サイズの知識、品質管理、副資材について②
23回		衣服の構成とディテール
24回	マーケティング	ECサイトのマーケティング
25回		顧客満足を高める為に
26回	販売業務	計数知識①
27回		計数知識②
28回		計数知識③
29回	後期テスト	後期テストの実施
30回	総括	1年間の振り返り

1日3時間 × 30回 ＝ 90時間

科　目　名	ファッションコーディネート	教　員　名	伊藤　彩
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
ECサイトで必要なスタイリング力を身につける。
セルフスタイリングを始め、アイテムを絞った着回し方を学ぶ。
様々なアイテムの表現方法を身につける。
イメージワードとスタイリングの結びつきをしっかり学ぶ。

到　達　目　標
基礎的なスタイリングのセンスを磨く。
撮影時の衣類の見せ方のノウハウを身につける。
様々な素材の衣類の取り扱いになれる。

授業の方法
実習を多くし、衣類に触れる機会を多くする。
条件つきのセルフスタイリングを楽しめるようにする。

成績評価の方法
実習の出来栄え 60%
授業態度　30%
ミニテスト　10%
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（スタイリスト、ディレクター）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介・授業の説明
2回	ファッションイメージ考察	イメージワードに基づいたスタイリングを考察
3回	ファッションイメージ考察	イメージワードに基づいたスタイリングを考察
4回	セルフスタイリング	テーマに基づいたセルフスタイリング
5回	セルフスタイリング&スナップ	テーマに基づいたスタイリングと着回し術
6回	市場リサーチや復習テスト	店舗や雑誌によるトレンド調査、または特別講義・ミニテスト
7回	撮影時のスキルアップ	ブツ撮りや着画撮影の衣類の見せ方
8回	撮影実習でのスキルアップ	ブツ撮り練習
9回	撮影実習でのスキルアップ	ブツ撮り練習
10回	プロップ、背景について	撮影に必要なプロップの選び方や背景の選び方
11回	撮影実習に向けた考察	撮影に向けたテーマ、アイテム選び
12回	衣装集め	アイテム集め
13回	撮影	撮影実習
14回	撮影反省会	撮影を振り返っての反省会
15回	総括	授業の総括

1日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	IT基礎	教　員　名	伊藤 貴裕
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

コンピュータやスマートフォンで仕事をすることが当たり前になっている現代において、
ITに関する知識は社会人としての必須知識となっている。
本講座では、職業人として身につけておくべきITに関する基本知識を
漏れなく身につけられるよう、ITに関する知識を幅広く扱い、概論を学習していく。
※難易度としては国家資格「ITパスポート」相当を目安とし、期末の時期に
　実際の資格取得を目指して学習を進める。

到　達　目　標

ITに関する基本知識全般を身につける。
ITパスポートに合格する。

授業の方法

教科書・レジュメをベースとした講師による講座（座学）により知識を身につけながら、
演習問題を用いて実際に問題を解けるようにトレーニングを行う。

成績評価の方法

課題：50%
授業への取り組み姿勢：40%
テスト：10%

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	有 ・ 無　実務概要（ITコンサルタント、企業向けシステム研修講師）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、IT基礎を学ぶことの意義を理解する
2回	ハードウェア	ハードウェアの側面から見るコンピュータの仕組み
3回	ソフトウェア	ソフトウェアの側面から見るコンピュータの仕組み
4回	コンピュータの仕組みと扱うデータ	2進数による処理概要、メディア
5回	データベース	データベースの基本知識
6回	ネットワーク	ネットワークの基本知識とインターネットの仕組み
7回	セキュリティ	セキュリティの基本知識
8回	演習①	演習と解説
9回	システムの導入	システム導入の流れ
10回	システム開発とプロジェクトマネジ	システム開発の方法論と実務、プロジェクトマネジメントの基本知
11回	企業活動とITの活用	企業活動と経営、企業のIT活用に関する知識
12回	法務と財務	法務、知的財産権、財務、財務諸表に関する知識
13回	演習②	演習と解説
14回	演習③	演習と解説（同時期にITパスポートCBT試験を受験予定）
15回	期末テスト	期末テストと振り返り

科　目　名	WEB制作	教　員　名	藤井　貴浩
授業時数・単位	90　時間　　3　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

本授業においては、実際に手を動かして、そこから自分で理解するということの大切さを知ってもらうことを重視します。勉学を通じて
身につける知識もとても大切ですが、実技を通じて、今まで全く分からないWebの世界を朧げにでも理解できることを目指します。
Webを身近に感じること、そしてWebの世界においてもクリエイティブで、創造を活かせる世界があることを授業を通じて実感しましょう。
本授業を通じて、自分自身でWebコンテンツを制作してみることで、関連知識の勉強や知識もより理解度、定着度が増すことが
出来ます。また、実際の社会人生活においても同じですが、全ての工程が1人で完結する仕事は多くありません。
仮に1人で行った仕事でも仲間から意見をもらうことは非常に大切な工程になります。
本講義では、グループワークにも力を入れ、クラスである強みを活かし、みんなで効率的に学習していきます。

到　達　目　標

Webサイトの設計、実装、公開、運用の一通りの流れを理解することができる。
就職後の企業のWeb、EC運営などを行うにあたり基盤となる知識を身につける。
Webにおいても創る楽しさがあることを知る。

授業の方法

座学による講義。
実習形式による制作。

成績評価の方法

課題：50%
授業への取り組み姿勢：50%
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

日常の身の回りで起きている出来事に対して、「なぜ？」を考える事を意識する。

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（一般企業でのソフトウェア開発）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	Web制作を学ぶことの意味と可能性を知る
2回	開発用ECサイトの準備(shopify)	開発用ECサイトの準備
3回	HTML, CSS基礎①	HTML, CSS基礎についての学習
4回	HTML, CSS基礎②	HTML, CSS基礎についての学習
5回	GIT	GITの仕組みと基本的な使い方を学ぶ
6回	HTML, CSS基礎	HTML、CSS基礎、Webサイトの公開
7回	サイトマップ・ページリスト設計	サイトマップ・ページリスト設計
8回	ワイヤーフレーム制作①	振り返り・ワイヤーフレーム制作
9回	ワイヤーフレーム制作②	ワイヤーフレーム制作
10回	ワイヤーフレーム制作③	ワイヤーフレーム制作
11回	スケジュール、タスク管理	スケジュール、タスク管理
12回	PHP基礎①、JavaScript基礎	PHP基礎1, JavaScript基礎およびポートフォリオの実装
13回	PHP基礎②、PHP基礎③	PHP基礎2, PHP基礎3およびポートフォリオの実装
14回	PHP基礎④、プログラムのデプロイ	PHP基礎4, PHPを利用したプログラムのデプロイ
15回	振り返り	授業の振り返り
16回	オリエンテーション、EC制作説明	後期オリエンテーション、ECデモサイト製作概要
17回	EC制作①(shopify)	ECデモサイトの制作①
18回	EC制作②(shopify)	ECデモサイトの制作②
19回	EC制作③(shopify)	ECデモサイトの制作③
20回	EC制作④(shopify)	ECデモサイトの制作④
21回	開発プロセス、設計	開発プロセス、設計
22回	修了制作①、セキュリティ	修了制作概要説明、セキュリティ
23回	修了制作②、テスト手法	制作、テスト手法
24回	修了制作③	制作、フレームワーク
25回	修了制作④	制作
26回	修了制作⑤	制作
27回	修了制作⑥	制作
28回	発表	発表
29回	発表	発表
30回	Web制作と仕事	Web制作の知識とキャリアの関係性について

1日3時間 × 30回 ＝ 90時間

科　目　名	WEB運営	教　員　名	深地　雅也
授業時数・単位	90　時間　　3　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
■ECサイトやSNS上の訪問データを分析し、売上UPに繋がる手法を学ぶ

到　達　目　標
■EC担当者として必要な知識・技術の習得
■WEB解析の学習

授業の方法
■座学による講義
■ECカートの管理画面を活用した実践
■アパレルECサイトのリサーチとトレース

成績評価の方法
■提出課題・出席/授業態度
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項
■アパレル/ファッションブランドのECサイトとSNSの定点観測必要

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（ファッションブランドのEC運営ディレクション※50ブランド以上）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	EC担当者の業務の解説	現場のEC担当者が日々実行している作業の理解
2回	shopifyの管理画面の概要	用語解説（ドメイン・ファビコン・OGPなど）
3回	shopifyの機能解説	初期設定（Googleアナリティクス・search console・GTM設置）
4回	固定ページの役割	ABOUT・ショッピングガイド・特定商取引法
5回	ささげ業務の実践①	原稿作業（商品説明文）
6回	ささげ業務の実践②	原稿作業（記事コンテンツ）
7回	ささげ業務の実践③	撮影・採寸の概要/付随するサービスの解説
8回	商品登録作業①	CSVの編集
9回	商品登録作業②	カテゴリー分けのルール設定
10回	商品登録作業③	タイトル・ディスクリプション・alt属性の設定
11回	配送までの流れ	注文から配送までの流れ確認・送り状ナンバーの入力
12回	ECにおけるSEO①	search consoleの使い方について
13回	ECにおけるSEO②	MFI・CWV・EEATの説明
14回	メルマガ運用について	テンプレートを活用したメルマガ作成
15回	SNSを活用した集客について	主にinstagramを活用したプッシュ施策
16回	WEB解析①	GA4の概要説明
17回	WEB解析②	チャネル別・参照元別・キャンペーン別の効果検証
18回	WEB解析③	search consoleとランディングページを組み合わせた効果検証
19回	WEB解析④	地域別・性別・デバイス別等の効果検証
20回	WEB解析⑤	サイトコンテンツの効果検証
21回	WEB解析⑥	間接効果・広告の効果検証
22回	WEB解析⑦	探索レポートの使い方
23回	WEB解析⑧	GTMからカスタムイベントを設定
24回	WEB解析⑨	Microsoft Clarityの導入・活用
25回	WEB解析⑩	shopifyのストア分析の理解
26回	集客施策立案①	SNSと連動した集客施策の立案と実践
27回	集客施策立案②	SNSと連動した集客施策の立案と実践
28回	修了制作①	修了制作
29回	修了制作②	修了制作
30回	修了制作③	修了制作

1日3時間 × 30回 ＝ 90時間

科　目　名	カメラワーク	教　員　名	石田　英士
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
カメラの基礎知識をしっかりと学び、講習や撮影実習を通して
正確で綺麗な撮影テクニックを身につける
撮影のみで終わることなく、カラーマネージメントを通しデータ作成までのワークフローを体感し
様々な講習を通して、幅広い写真表現を習得する

到　達　目　標
・デジカメの使用方法をマスターし、イメージ通りの写真が撮れる技術の習得を目指す
・写真表現を通した幅広い表現力やディレクション力を身につけること
・用途に応じたデータを作成する知識と技術の習得

授業の方法
撮影実習や技術講習を中心に授業を進めていきます
撮影のみで終わることなく、イメージの構築、準備、プロセスにも重きを置き、
フィニッシュまで全体を考えられるように指導していきます

成績評価の方法
・撮影実習作品を基準とした成績評価となります
・評価基準としては、クオリティー60%、準備などプロセスを40%としています
・撮影に取り組む姿勢や努力が多く見える場合は加点対象と致します
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（フォトグラファー）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	Introduction	撮影のワークフローを知る
2回	カメラの基礎知識①	一眼カメラ(ミラーレス)の使用方法や設定方法、絞りやシャッタースピード
3回	撮影実習	イメージスナップ撮影
4回	カメラの基礎知識②	カラーバランスやキャリブレーション、データの保存方式、テザー撮影
5回	ライティング講習	自然光や人工光(ストロボやLED)によるライティング
6回	撮影実習	物撮影(STILL LIFE)　イメージを写真で表現する
7回	カメラの基礎知識③	データのデベロップ(現像) 色調整のテクニック　プリント出力方法
8回	撮影実習	ファッションポートレート撮影
9回	カメラの基礎知識④	デジタルとアナログ　　印象の違いを研究
10回	撮影実習	イメージ撮影
11回	撮影実習	イメージ撮影
12回	COMMERCIAL WORK ①	ファッション広告企画を立案し、写真で表現
13回	COMMERCIAL WORK ②	データを元に広告をデザイン
14回	撮影実習	卒修展　作品撮影①
15回	撮影実習	卒修展　作品撮影②

日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	画像編集ワーク	教　員　名	西村　元良
授業時数・単位	90　時間　　3　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

WEBでのIllustratorとPhotoshopの活用方法

1. ファッション産業におけるWEB上のグラフィック役割と有効性を理解し、デザイン表現の手段としてPC及びソフトを扱う能力を身につけると同時に、デザイン表現能力とプレゼンテーション能力のスキルアップを図る。
2. グラフィックCGを使用してWEBでの画像制作を行う際の、CG活用術の習得とスキルアップ。
3. 市販ソフト「ドローソフト／Illustratorとフォトレタッチソフト／Photoshop」の応用操作の習得とスキルアップ。
4. WEB関連授業とのコラボレーションによる共同作業。

到　達　目　標

画像編集の技能習得を通して、個人企画能力のスキルアップを目指す。

（WEBデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及びグラフィックソフトを使う能力を身につけ、同時に、各自のWEBデザイン能力のスキルアップを図る）

授業の方法

講義・演習による操作・作業説明、実習による実技指導、巡回による個別指導を行う。

1. 画像データの編集や、写真コラージュによる効果的なイメージ表現方法を理解するための演習。
2. 関連授業と連携した課題制作実習。
3. 配布資料データ・各自の収集したデータを基にした課題制作実習。
4. 授業は全て講義・実操作でおこない、実習・演習の練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく。

成績評価の方法

試験（30%）、課題制作物（30%）、出席率（30%）、授業態度（10%）の比重で行う。

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

「WEB関連」の授業と連携し、画像編集制作の授業を行う。

コンテスト作品制作への応募する関連した授業を行う。

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（服飾デザイナーおよびコンピューターグラフィックソフト企画営業）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　1-1　個人レベルスキルの状況確認
2回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　1-2　コンテスト作品制作
3回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　1-3　コンテスト作品制作
4回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-1　DTP編集・関連授業コラボレーション
5回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-2　DTP編集・関連授業コラボレーション
6回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-3　DTP編集・関連授業コラボレーション
7回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-4　DTP編集・関連授業コラボレーション
8回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-5　DTP編集・関連授業コラボレーション
9回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-6　DTP編集・関連授業コラボレーション
10回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-7　DTP編集・関連授業コラボレーション
11回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-8　DTP編集・関連授業コラボレーション
12回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　2-9　DTP編集・関連授業コラボレーション
13回	課題制作	エディトリアルデザイン制作　3-1　実習
14回	課題制作	エディトリアルデザイン制作　3-2　実習
15回	課題制作ー提出	エディトリアルデザイン制作　3-3　実習
16回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-1　DTP編集・関連授業コラボレーション
17回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-2　DTP編集・関連授業コラボレーション
18回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-3　DTP編集・関連授業コラボレーション
19回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-4　DTP編集・関連授業コラボレーション
20回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-5　DTP編集・関連授業コラボレーション
21回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-6　DTP編集・関連授業コラボレーション
22回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-7　DTP編集・関連授業コラボレーション
23回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-8　DTP編集・関連授業コラボレーション
24回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-9　DTP編集・関連授業コラボレーション
25回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-10　DTP編集・関連授業コラボレーション
26回	グラフィックソフトの操作習得	画像編集の習得　4-11　DTP編集・関連授業コラボレーション
27回	修了制作	画像編集の実習　5-1
28回	修了制作	画像編集の実習　5-2
29回	修了制作	画像編集の実習　5-3
30回	修了制作ー提出	画像編集の実習　5-4

1日3時間 × 30回 ＝ 90時間

科　目　名	デジタル広告	教　員　名	足田　朝彦
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
本授業では、ECサイトを運営していくために必要な広告に関する理論と手法を学び、
デジタル広告サービス・ツールの使い方を実機操作を通じて習得することで、
ECサイト担当者として、即戦力となるような実践的なスキルを身につけることを目指す

到　達　目　標
マーケティングの概念を理解している
デジタル広告を中心とした広告の産業について理解している
ECサイト運営に必要なデジタル広告に関する広告理論・手法を理解している
デジタル広告サービス・ツールの操作方法を理解している

授業の方法
教科書・レジュメをベースとした講師による講座（座学）により知識を身につけながら、
適宜、実機による演習を行う

成績評価の方法
課題：50%
授業への取り組み姿勢：40%
テスト：10%
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	(有)・無　実務概要（広告代理店でのアカウントプランナー6年（2社））

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の進め方、デジタル広告を学ぶことの意義を理解する
2回	マーケティング・ブランディング概要	マーケティング・ブランディング概要　※認知～獲得の 流れと各段階における施策、ペルソナ設計、カスタマージャーニー
3回	広告の歴史や役割について	広告全般の仕組などを理解する
4回	Web広告の歴史や役割について	Web広告全般の仕組などを理解する
5回	目標設定や日々のルーティン業務について	広告運用者の日々の業務について理解する
6回	リスティング広告	リスティング広告のポイント
7回	リスティング広告	リスティング広告の実践
8回	前期テスト	前期テスト
9回	SNS広告	SNS広告のポイント
10回	SNS広告	SNS広告の実践
11回	アフィリエイト広告	アフィリエイト広告のポイント
12回	アフィリエイト広告	アフィリエイト広告の実践
13回	アパレルECにおける広告運用	EC広告のポイント
14回	アパレルECにおける広告運用	EC広告の実践
15回	後期テスト	後期テストと振り返り

1日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	カスタマーリレーション	教　員　名	湯原　良樹
授業時数・単位	45　時間　　1.5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

良い接客とはなんでしょうか？　探しているアイテムを伝えたら見つけてくれる、スタイリングを提案してくれる、
試着や支払いをスムーズに誘導してくれる、そんな店員さんがいると思わず服を買ってしまうことはないでしょうか。
それは対面の接客が発生しないオンラインショップでの販売でも同じです。
実店舗での販売と同じように、適切にお客様の購買をサポートし、満足度をあげることがファンの獲得、
ブランド価値の向上、売上増加に繋がります。
本授業では、お客様のニーズを理解し、店舗、オンライン問わず優れたショッピング体験を提供するための
基礎を学びます。

到　達　目　標

顧客管理・マーケティングの目的やその実践方法について理解する
メルマガ・LINE・オンライン広告・DMなど顧客向けの販促活動の手法を身につける
顧客満足度を向上させるための手法、分析方法について学び、ECサイトなど
オンライン上で工夫すべき点を理解する

授業の方法

座学でオンライン上での顧客管理・マーケティング分析手法を学ぶと同時に、
自身でも世の中のECサイトを分析し、接客として優れているECサイトのエッセンスを感じ取りながら
授業を進めていきます

成績評価の方法

課題：30%
授業への取り組み姿勢：50%
テスト：20%

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

接客は対面販売だけで発生するものではありません。
オンラインでもお客様が気持ちよくショッピングができ、ブランドのファンになってもらえるよう
お客様をより理解し、コミュニケーションを取る方法を学びましょう。

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（マーケティング・CRM企画、コンサルティング）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業の趣旨と1年間を通した目標の共有 カスタマーリレーションとは何か
2回	カスタマーリレーションとは①	身近なショッピング体験の考察 顧客接点と現代における購買行動モデルの理解
3回	カスタマーリレーションとは②	カスタマーリレーションとマーケティングの関係性 顧客理解のための分析手法とデータ①
4回	カスタマーリレーションとは③	顧客理解のための分析手法とデータ②、顧客理解演習①
5回	カスタマーリレーションとは④	顧客理解演習② － 演習内容の振り返り
6回	前期テスト	前期テスト　学習の振り返り
7回	カスタマーリレーションとマーケティング①	カスタマーリレーションとマーケティングに関する復習 ECサイトにおけるマーケティング手法とデータ活用① － 施策の種類とデータの活かし方
8回	カスタマーリレーションとマーケティング②	ECサイトにおけるマーケティング手法とデータ活用② － 施策の評価、分析
9回	データ分析 カスタマーリレーション施策検討演習①	演習 － モデル企業、ブランド分析とカスタマーリレーション施策検討
10回	データ分析 カスタマーリレーション施策検討演習②	演習結果の発表・考察 カスタマーリレーション実践例の紹介
11回	データ分析 カスタマーリレーション施策検討演習③	演習 － モデル企業、ブランド分析とカスタマーリレーション施策検討
12回	後期テスト	後期テスト 演習 － モデル企業・ブランド分析とカスタマーリレーション施策検討
13回	データ分析 カスタマーリレーション施策検討演習④	演習 － モデル企業・ブランド分析とカスタマーリレーション施策検討 演習結果の発表・考察
14回	これからのカスタマーリレーション	カスタマーリレーションにおけるデータ活用最前線と事例紹介
15回	学習の振り返り	これまでの学習の振り返り

1日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	素　材	教　員　名	島田　朋子
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
・ファッション業界の流れ、その中で作られていく素材のポジションと意味を知る
・アパレルで使用頻度の高い服地（綿・麻・毛織物・絹・化合繊・複合素材・ジャージーなど）
基本服地100種ほどを学ぶ
・服地の良否の見分け方やデザインにマッチした服地素材のセレクトの仕方を学ぶ
・アパレル製品の品質管理の為に必要な知識を学ぶ（家庭用品品質表示法について）

到　達　目　標
・アパレル製品を扱う上で必要な基礎知識を身につける
・素材知識を深め、特性を理解することで、消費者に正しく商品情報を伝えることが出来るようになる
・店頭にある商品がどのような加工をされているのか、実習で学ぶ

授業の方法
・基本素材ブックの作成で、実際の生地に触れながら素材名や特徴を理解する
・プリント資料をベースに基本知識を説明していく
・実習でもの作りを体験する
・自身で素材構成を考えていくことで、商品企画を理解する

成績評価の方法
出席率、受講姿勢
テスト、作品完成度（ステンシル）
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（テキスタイルデザイン、OEM企画、品質管理）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッション業界におけるテキスタイル	ファッション業界の大きな流れとテキスタイルのトレンドを説明／これからの進行を説明
2回	繊維の分類と名称、生地が出来るまで	繊維についてと、その繊維が生地になるまでを学ぶ
3回	繊維についての小テスト、織物と編物	小テスト実施、織物と編物についての知識を学ぶ
4回	三原組織について、素材ブック作成①	織物の三原組織を知る。素材ブックを作りながら生地特性を知る
5回	素材ブック作成②植物繊維について	素材ブックを作りながら生地特性を知る（綿、麻について）
6回	素材ブック作成③動物繊維について	素材ブックを作りながら生地特性を知る（羊毛、獣毛について）
7回	前期末テストと解説	期末テストで習得度を測る
8回	染色について・ステンシル実習	染色について学び、ステンシル実習でプリント効果を知る
9回	素材ブック作成④化学繊維について	素材ブックを作りながら生地特性を知る（化学繊維について）
10回	素材ブック作成⑤カットソーについて	素材ブックを作りながら生地特性を知る（カットソーについて）
11回	品質について（家庭用品品質表示法）	商品を販売する際に必要な、家庭用品品質表示法を学ぶ
12回	品質について（品質とクレーム）	品質試験の項目と市場で起こるクレーム事例と解決法を知る
13回	素材構成①	商品の素材構成を説明し、自身でターゲットを決め素材の当て込みをする
14回	素材構成②	素材とアイテムを適合させ、洗濯表示を自身で考える
15回	後期末テストと解説	期末テストで習得度を測り、解説を聞いて復習する

1日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	カラー	教　員　名	杉本　祐子
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

ファッション業界で仕事をする際に、色彩は全ての職種に共通して重要であるので、基本的な内容を習得する。現場で必須の色彩の知識を学び、活用・応用できるようにするために、演習を重ねて理解を深める。また、ファッション色彩能力検定にも関連付けた内容とする。

概要　：　①色彩の基本　　②配色の基本　　③色彩心理　　④ファッションイメージと色彩
⑤ファッションカラーコーディネーションの配色技法　　⑥パーソナルカラーの仕組みの概要
⑦ファッション色彩能力検定対策

到　達　目　標

・色彩は単独で存在するものではなく、配色は形、面積、対比などによる効果が大きく作用するので、基本的な配色の技法を習得すること。
・伝えたいイメージを的確に表現できるように各自の能力や感性を磨くこと。
・ファッション色彩能力検定3級あるいは2級取得を目標とする。

授業の方法

・テキストとプリント(オリジナル)を活用して基礎知識を習得する。
・講義後は必ず演習及び応用編として関連付けた課題を作成し、個性を表現しながら理解を深める。
・多くの演習や課題に取り組み、各自の気付き、発見で楽しみながら色彩の知識を習得できるようにする。
・ファッション色彩能力検定対策として3級問題集も使用する。

成績評価の方法

◎出席：10%　◎テスト：30%　◎課題：50%　◎その他：10%
・課題提出状況（提出期限含む）：加点　＋0～10%
・授業態度・課題に対する積極性：加点　＋0～10%
・出席率　加点　＋0～10%
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

・教材：ファッション色彩能力検定3級　公式テキスト「ファッション色彩Ⅰ」
・美術展鑑賞や新しいトレンド・市場動向などを積極的にチェックし、感性を磨く努力を望みます。

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（アパレルにてカラリスト・商品企画・トレンド分析、色彩検定委員他）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	色彩の基本	マンセルカラーシステム、色の三属性、カラーチャート作成
2回	色相と色相環の理解	色相の分類を理解するためのオリジナル色相環の作成
3回	色彩の技術　：　配色の基本　①	色相を基準にした配色の5種類
4回	〃　：　配色の基本　②	トーンを基準にした配色の3種類と色彩理論（混色、視覚と色）
5回	〃　：　配色の基本　③	色彩構成のテクニック、グラデーション、セパレーション他
6回	色彩心理	色の性質、役割、対比効果、色彩の感情効果、錯視
7回	前期テスト	前期の復習、テスト
8回	ファッションカラーコーディネーションの技法①	カマイユ配色、フォ・カマイユ配色、トーン・オン・トーン配色
9回	〃　②	トーン・イン・トーン配色、トーナル配色、ドミナントカラー配色
10回	〃　③	トリコロール配色、マルチカラー配色、アクセントカラー配色
11回	ファッション産業と色彩	企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩、流行色
12回	パーソナルカラーの仕組みの概要	パーソナルカラーの仕組みとカラー診断
13回	ファッション色彩能力検定対策	検定試験範囲の総復習
14回	ファッションイメージと色彩	エレガント、モダン、クラシック他ファッションイメージマップ作成
15回	後期テスト	前期・後期の総復習テスト

1日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	コピーライティング	教　員　名	塚本　香
授業時数・単位	90　時間　　3　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

対面の接客が発生しないオンラインショップでの販売において、顧客にブランドや商品を認知してもらい購買意欲を促すためには、アイテム・スタイリングの写真とあわせて、商品の魅力を適切にわかりやすく伝えるための文章力が求められます。

本授業では、まず商品をとらえる視点を明快にすることから、実際にそれを正しい日本語でどう表現していくか、さらにオンラインユーザーの共感を得るための文章力までを学んでいきます。

到　達　目　標

オンラインショップに求められる文章を理解し、正しい日本語で書くことを身につける。

ファッションを理解するための視点や商品説明に必要な用語を身につける。

顧客の共感を得られる文章を作成する技術を身につける。

自分自身の考えを簡潔に伝える文章力を身につける。

授業の方法

オンラインショップに掲載されている文字情報を正しく理解したうえで、実際に皆さんに身近な商品やブランドを対象として文章を書いていただきながら、添削・修正を繰り返し、基本的な文章力を実践を通して習得していただきます。

上記を継続的に行いながら、基礎を固めつつ、よりユーザーの共感を得られる自分目線の表現方法、SEOを意識したライティングなど、より高度なノウハウも学んでいただきます。

成績評価の方法

課題：35%

授業への取り組み姿勢：35%

テスト：30%

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

日本語の文章力はECサイト上のPRのみならず、様々なビジネスシーンや就職活動においても重要なスキルです。また、オンラインでのやり取りが増えている昨今のビジネスシーンでは、文章力で相手の印象が大きく変わりますので、ビジネスの基礎スキルとしてのライティング技術も向上させましょう。

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（ファッション誌ファッションディレクター、女性誌編集長、ファッションジャーナリスト）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	ライティング技術の重要性を理解する
2回	ライティング基礎＆実践	ライティングの基本的な流れと原則 （ターゲティング、トンマナ、誇大広告NGなど）を学ぶ
3回	ライティング実践	実際のアイテムを用いて、説明文章を書いてみる
4回	ライティング基礎	自分の書いた文章から、日本語の基礎を学ぶ
5回	ライティング実践	実際のアイテムを用いて、説明文章を書いてみる
6回	ライティング基礎	自分の書いた文章から、文章の組み立て方を学ぶ
7回	ライティング実践	実際のアイテムとそれを使ったスタイリングについて、説明文章を書いてみる
8回	ライティング基礎	自分の書いた文章から、ファッション用語の使い方を学ぶ
9回	ライティング実践	実際のアイテムとそれを使ったスタイリングについて、説明文章を書いてみる
10回	ライティング基礎	自分の書いた文章から、ファッションを語るために必要な視点を学ぶ
11回	ライティング実践	実際のブランドについて、説明文章を書いてみる
12回	ライティング基礎	自分の書いた文章から、より豊かな表現方法を学ぶ
13回	ビジネスライティング	エントリーシート・自己PRにおける文章作成方法を学ぶ
14回	ビジネスライティング	ビジネスメールにおける文章作成方法を学ぶ
15回	前期テスト	期末テスト
16回	Webライティング	Webページでのライティング技法（構成・見出しなど）を学び、 実際のアイテム・スタイリングを用いて、説明文章を書いてみる
17回	Webライティング	SEOの重要性を理解し、SEO対策を踏まえたライティング技法を学ぶ
18回	Webライティング	SNSでのライティング技法（構成・見出しなど）を学び、 実際のアイテム・スタイリングを用いて、説明文章を書いてみる
19回	Webライティング	SNSでのライティング技法（構成・見出しなど）を学び、 実際のアイテム・スタイリングを用いて、説明文章を書いてみる
20回	Webライティング	メルマガでのライティング技法（構成・見出しなど）を学び、 実際のアイテム・スタイリングを用いて、説明文章を書いてみる
21回	Webライティング	メルマガでのライティング技法（構成・見出しなど）を学び、 実際のアイテム・スタイリングを用いて、説明文章を書いてみる
22回	個人ポートフォリオのライティング	Web制作と連動した課題制作
23回	個人ポートフォリオのライティング	Web制作と連動した課題制作
24回	個人ポートフォリオのライティング	Web制作と連動した課題制作
25回	個人ポートフォリオのライティング	Web制作と連動した課題制作
26回	後期テスト	期末テスト
27回	修了制作	修了制作向けライティング
28回	修了制作	修了制作向けライティング
29回	修了制作	修了制作向けライティング
30回	修了制作	修了制作向けライティング

1日3時間 × 30回 ＝ 90時間

科　目　名	パソコンワーク	教　員　名	細谷　典子
授業時数・単位	45　時間　　1．5　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要
目指す業種がPC操作必須となるため、迅速な入力を目指します
個人のスキルや弱点に合わせて、ExcelとPowerPointの操作スキル向上を目指します

到　達　目　標
素早いキーボード操作とショートカットキーの活用
実務で通用するExcelとPowerpointスキルの習得
ExcelとPowerPoint　2科目のマイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）の受験

授業の方法
下記に記載の授業カリキュラムを標準とし、個人の進捗状況に応じてMOS受験を目標としつつ、
実務に役立つようスキルアップを目指します

成績評価の方法
・模擬試験　100%
・授業態度、積極性　加点+0～10%
・出席率　加点+0～15%
※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	(有)・無　　実務概要（DTPデザイナー・Webデザイナー）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	キーボード操作のチェック Excel操作の確認	キーボード入力/ショートカットキー活用トレーニング　Excelスキルチェック（初心者、経験者の差がありますので、個人のスキルチェック結果に応じて、以降の授業内容を決定します）
2回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
3回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
4回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
5回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
6回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
7回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
8回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
9回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
10回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
11回	Excel	実践問題を用いたExcel操作方法の習得
12回	就職後を目指した内容の模擬試験	実務で用いられるの模擬資料を作成します
13回	PowerPoint	Powerpoint操作基礎の習得・課題に基づく資料作成①
14回	PowerPoint	課題に基づく資料作成②
15回	PowerPoint	課題に基づく資料最終化・提出

1日3時間 × 15回 ＝ 45時間

科　目　名	校外研修	教　員　名	福原　葉瑠子
授業時数・単位	30　時間　　1　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

通常授業から離れ、様々な体験を積むことにより、教養の幅を広げ、感性を育むとともに、
ファッション業界を目指す上で役立つ基礎的な素養を身につけます。

到　達　目　標

この研修を通じて、できるだけたくさん「自分にとっての新たな発見」を体感してください。
その発見から、興味・関心の幅を広げ、自己の成長に繋げることを目標とします。
具体的には、ファッション業界への更なる興味喚起、社会人としてのコミュニケーションスキルの理解、
効果的なステージ衣装の視察、西洋美術・日本美術への興味喚起・感性研鑽、
デザインモチーフの考察、舞台演出の技法研究、演技・表現方法の観察などを目指します。

授業の方法

参加体験型の取り組みとなります。
各自が積極的に参加し、自ら進んで多くの発見をしてください。
①ファッション業界で活躍する方の講演　　②美術鑑賞・デザインモチーフ研究
③テーマパークコミュニケーションスキルセミナー・衣装研究　　④芸術鑑賞（観劇）

成績評価の方法

各自が自主的に多くを吸収することを求める授業ですので、出席を重視し、成績はA・B・Cではなく、
P（合格）・F（不合格）で評価します。
P＝出席率75％以上　、　F＝出席率75％未満

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

本人の取り組み方次第で、多くを発見し、自己の成長に繋げることができる授業科目です。
積極的に参加し、幅広い教養・感性等を習得してください。

教員の実務経験	有・(無)　　実務概要（　　）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	①ファッション業界で活躍する方の講演	学生時代から現在の仕事までの体験談・仕事について・学生へのアドバイス （3時間）
2回	↓	振り返り （1．5時間）
3回	②美術鑑賞・デザインモチーフ鑑賞	西洋絵画鑑賞等に向けての解説 （1．5時間）
4回	↓	美術館での西洋絵画鑑賞 （3時間）
5回	↓	動物園でのデザインモチーフ研究または博物館での日本美術鑑賞 （3時間）
6回	↓	振り返り （1．5時間）
7回	③テーマパークコミュニケーションスキルセミナー	コミュニケーションスキルの研修・実査 （3時間）
8回	↓	コミュニケーションスキルの実査・ステージ衣装視察 （6時間）
9回	↓	振り返り （1．5時間）
10回	④芸術鑑賞（観劇）	観劇に向けての解説 （1．5時間）
11回	↓	劇場での観劇 （3時間）
12回	↓	振り返り （1．5時間）

科　目　名	インターンシップ	教　員　名	福原　葉瑠子
授業時数・単位	30　時間　　1　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

企業等で、実際の仕事現場での業務を体験する研修です。

プロの指導の下、業務を体験することで、プロ意識を植え付け、職業についての理解を深めます。

自分自身の職業適性を知る機会にもなり、将来の職業選択にも役立つ授業科目です。

到　達　目　標

企業等で与えられた仕事・課題を遂行し、職場において社会人としての基本的な行動ができること。

そして、体験した業務に関する職業観を会得することを目標とします。

授業の方法

受け入れ先のルール・指示に従い、現場の業務を体験します。

成績評価の方法

受け入れ先担当者からのフィードバック（書面または口頭による評価）、研修完了報告書等により、

インターンシップを滞りなく完了したことを確認し、P（合格）・F（不合格）で評価します。

P＝インターンシップ完了 、F＝インターンシップ未完了（欠勤や業務不適応で完了と認められない場合）

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

インターンシップ実施時間合計28時間以上の研修を対象とします。

また、複数のインターンシップに参加し、実施累計時間28時間以上となる場合も履修と認めます。

教員の実務経験	有・(無)　　実務概要（　　）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	事前指導	インターンシップの注意事項、受け入れ先企業の基本情報をレクチャー （1時間）
2回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ
～	↓	↓
11回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ （インターンシップ時間合計 28時間以上）
12回	報告書作成	研修完了報告書の作成・提出 （1時間）

科　目　名	修了制作	教　員　名	伊藤　貴裕
授業時数・単位	120　時間　　4　単位	対象クラス	FT　科　　1　年

授業テーマ・概要

FT科内の各授業と連携し、5時限目以降および通常授業の休講日を利用して、自身のオリジナルECサイトを制作します。

到　達　目　標

ショップコンセプトを設定し、自ら販売商品の決定・スタイリングを行った上で、商品のライティングや撮影を行うとともに、コンセプトに沿ったデザインのECサイトを立ち上げ、商品を掲載できることを目標とします。

授業の方法

修了制作発表（プレゼンテーション）できるレベルの完成度の高い修了作品を期日までに完成できるよう、一人ひとりにマンツーマンで制作指導を行います。

成績評価の方法

FT科の修了制作として、実務的に出店が可能なレベルでのECサイトの制作を行い、制作したECサイトのプレゼンテーションを通じて、P（合格）・F（不合格）で評価します。

※成績評価基準は、校内ルール4項（2）に準拠する。

特　記　事　項

教員の実務経験	(有)・無　実務概要（ITコンサルタント、企業向けシステム研修講師）

回数	授業テーマ	授業内容
1回	修了作品制作	ECサイト制作・プレゼンテーション準備
～	↓	↓
30回	↓	↓

ファッションテック科　授業科目一覧表							
分類	授業科目	必・選の別	１年次		授業種類	担当教員	業界実務経験
			年間授業時間数	単位			
専門科目	ファッション知識	必修	90	3	講義	面田 憲郎	○
	ファッションコーディネート	必修	45	1.5	演習	伊藤 彩	○
	ＩＴ基礎	必修	45	1.5	演習	伊藤 貴裕	○
	ＷＥＢ制作	必修	90	3	実習	藤井 貴浩	○
	ＷＥＢ運営	必修	90	3	演習	深地 雅也	○
	カメラワーク	必修	45	1.5	実習	石田 英士	○
	画像編集ワーク	必修	90	3	実習	西村 元良	○
	デジタル広告	必修	45	1.5	演習	足田 朝彦	○
	カスタマーリレーション	必修	45	1.5	演習	湯原 良樹	○
専門関連科目	素材	必修	45	1.5	演習	島田 朋子	○
	カラー	必修	45	1.5	演習	杉本 祐子	○
	コピーライティング	必修	90	3	演習	塚本 香	○
	パソコンワーク	必修	45	1.5	実習	細谷 典子	○
一般科目	校外研修	必修	30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	インターンシップ※	選択	30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	修了制作	必修	120	4	実習	伊藤 貴裕	○
	必修科目授業時間数		960	32			
	選択科目授業時間数		30	1			
	卒業に必要な総授業時数		800時間				
	全設置授業時数		990時間				
	実務教員授業時数		930時間				

※受講生の選抜を行う場合がある